

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		鍼灸スポーツ		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		外国語		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員		ILC講師	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》							
医療現場での英会話を想定し、会話に必要な英語による医療用語を学び、コミュニケーションを中心とした授業を行う。最低限の日常会話能力や講義内で使用される専門用語の理解に寄与する。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験70、出席評価20、平常評価10							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
教科書:「医療英語コミュニケーション」、特定非営利活動法人 医療・福祉英語検定協会							
《授業外における学習方法》							
準備学習は特に必要ありませんが、医療分野での専門用語が出てくるため、その他の基本的な単語力や文法の理解力が足りていないと、授業についていくのが難しくなってきます。必要に応じて、事前にテキストに目を通して単語を確認しておく、授業後に分からなかった箇所を再確認しておくことをおすすめします。							
《履修に当たっての留意点》							
受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 1 受付で対象者と基本的な英語対応ができる。		医療英語コミュニケーション	チャプター1 (pp.6-11)を事前に見ておく	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション 受付に必要な語彙と表現の学習				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。		医療英語コミュニケーション	チャプター3(pp.18-20)を事前に見ておく	
		各コマにおける授業予定	体の部位、痛みの表現の学習 現在完了形を使用した期間の表現の学習				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 3 基本的な体の部位の名称を英語で理解し、患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。		医療英語コミュニケーション	チャプター3(pp.20-21)を事前に見ておく	
		各コマにおける授業予定	体の部位、痛みの表現の学習 現在完了形を使用した期間の表現の学習				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 4 様々な患者の症状や痛みなどを英語で正確に聴取し情報を収集できる。		医療英語コミュニケーション	チャプター4 (pp.24-25)を事前に見ておく	
		各コマにおける授業予定	基本的な症状の表現("I have (a)・・・", "I feel","I am","・・・feels ・・・","・・・hurts")の学習 症状の問診の会話の学習				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 5問診1 患者に症状、家族歴、既往歴、継続期間を尋ねる(現在完了形)		医療英語コミュニケーション	チャプター5(pp.30-32)を事前に見ておく	
		各コマにおける授業予定	問診時に使用する重要英語表現の学習				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 6 問診2(アレルギー・生活習慣)に関する様々な英語対応がスムーズにできる。	医療英語コミュニケーション	チャプター6(pp36-41)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	生活習慣についての質問表現の学習 頻度の表現を使つての薬の処方学習		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 7 内科1(身体測定・診察時の表現)に関する英語対応ができる。	医療英語コミュニケーション	チャプター7(pp.42-45)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	身体測定の説明に必要な表現を学習する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter 1-7 の総復習	医療英語コミュニケーション	チャプター1～7とノート を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	チャプター1～7で学習した内容を総復習する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chaper 12 整形外科・整骨院に関連する症状・処置に必要な表現・語彙を使えるようになる。	医療英語コミュニケーション	チャプター12(pp68-71)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	骨・膝関節に関する語彙の学習 整形外科での診察に必要な会話を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter13 リハビリテーションでの指示の出し方や質問ができるようになる。	医療英語コミュニケーション	チャプター13(pp72-76)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	リハビリでの指示に必要な動きを表す語彙を学習する リハビリ時の会話の学習をする		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter14 リハビリテーション指導で必要な表現方法を学び、使えるようになる。	医療英語コミュニケーション	チャプター14(pp78-82)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	装具・義肢の語彙を学ぶ 筋肉に関する語彙を学ぶ リハビリ時の会話の学習をする		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter15 鍼灸関連の英語表現を学び、患者への応対・施術の説明ができるようになる。	医療英語コミュニケーション	チャプター15(pp84-87)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	鍼灸治療に関する語彙を学ぶ 鍼灸院での会話を学習する		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter16 会計でのやり取りや領収証の内容の説明ができるようになる。	医療英語コミュニケーション	チャプター16(pp88-92)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	領収書明細の語彙を学ぶ 会計時に必要な英会話を学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	Chapter18 カルテに出てくる用語・略語を学び、理解することができる。	医療英語コミュニケーション	チャプター18(pp100-104)を事前に見ておく
		各コマにおける授業予定	カルテで使用される略語と語彙を学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	学期末試験の復習が自宅でもできるようになる	医療英語コミュニケーション	今まで学習したチャプターと、ノートを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	今まで学習をしたチャプターの振り返りをする。		